

## 神戸大学 法学部/法学研究科 2018 年度夏期集中

### 『比較政治学 B』講義要項

日程：9 月 19 日（水）、20 日（木）、25 日（火）、26 日（水）、27 日（木）

時間：(1) 8:50–10:20, (2) 10:30–12:00, (3) 13:10–14:40

担当教員：<sup>やない ゆうき</sup>矢内 勇生

Email: [yanai.yuki@kochi-tech.ac.jp](mailto:yanai.yuki@kochi-tech.ac.jp)

教室：第三学舎 2 階 NTTDATA IT Room

Website: <http://www.yukiyanai.com>

TAs: <sup>しげむら そうへい</sup>重村 壮平（法学研究科博士後期課程） Email: [s.sohei@icloud.com](mailto:s.sohei@icloud.com)

<sup>たに けいすけ</sup>谷 圭祐（法学研究科博士後期課程） Email: [keeeei0724@gmail.com](mailto:keeeei0724@gmail.com)

#### 授業の内容

この授業では、比較政治学における理論・仮説をデータを用いて検証する方法を習得する。まず、自らの研究上の疑問に答えるために必要なデータを見つけ出し、それを分析可能な形式に変換する方法を身につける。その上で、どのような方法を使って収集したデータを分析すれば、研究上の疑問に答えることができるかを理解する。最後に、論文執筆や研究発表の際に分析結果を効果的に伝達することができるようにする。

#### 授業の目的と到達目標

この授業の目標は次のとおりである。

1. 比較政治学で使われる基本的な専門用語や基礎となる理論を理解する
2. 比較政治学的な考え方を身につける
3. 比較政治学が答えようとしている「問い」を理解する
4. それらの問いに対する答えを、データを使って示す方法を理解する
5. データ分析を用いた比較政治学研究を実施するための基礎力を身につける

#### 成績評価の方法

- 授業への参加（単なる出席ではない）：20%
- 実習課題の提出状況と完成度：40%（詳細については授業中に案内する）
- 期末レポート：40%（課題は授業中に提示する）
  - 分量：A4 用紙 20 ページ以下
  - 使用言語：日本語または英語
  - 提出方法：**PDF ファイル**をメールに添付して提出

\* メール の 件名：2018 比較政治学 B レポート提出

\* 添付するファイル名：kobe-cpb-LastnameFirstname.pdf（名前は適宜書き換える。  
例：kobe-cpb-YanaiYuki.pdf）

– 締切：2018年10月1日（月）午前9時（日本時間）

## 講義資料

講義資料は以下のウェブページから入手できるようにするので、各自確認すること。

<http://yukiyanai.github.io/jp/classes/kobe-cp/contents/>

## コンピュータの利用

この授業では、オープンソースの統計処理言語である R の使い方を学習し、それを用いてデータの収集、管理、分析を行う。また、R を使うための統合開発環境 (IDE) として、RStudio を用いる。R と RStudio はどちらも無料であり、各自のコンピュータ (Linux, Mac, Windows) にインストールすることができる。詳細については、[授業のウェブページ](#)を参照されたい。

R 以外の統計分析ソフト (Stata や SPSS など) を使って課題をこなしてもかまわないが、R 以外の使い方は説明しないので、各自の責任で使うこと。

また、課題やレポートの作成には R Markdown を用いることが望ましい (必須ではないが、この機会に使い方を覚えたほうがよい)。R Markdown の基本操作については授業で説明する。

## 教科書・参考書

### 教科書

以下の教科書を全員用意すること。英語版 (オリジナル) でも日本語版 (英語版の翻訳、上巻 [英語版の前半部分]) でもよい。

- Imai, Kosuke. 2017. *Quantitative Social Science: An Introduction*. Princeton, NJ: Princeton University Press.
- 今井耕介 (粕谷祐子, 原田勝孝, 久保浩樹 訳) 2018. 『社会科学のためのデータ分析入門 上』岩波書店.

### 参考書

参考書として授業の復習をする際に手元にあると便利だと思われる本を挙げる。参考書は必ずしも購入する必要はない。

- 比較政治学に関する文献
  - Clark, William Roberts, Matt Golder, and Sona Nadenichek Golder. 2017. *Principles of Comparative Politics*, 3rd Edition. Thousand Oaks, CA: CQ Press.
  - 粕谷裕子. 2014. 『比較政治学』ミネルヴァ書房.
  - 久保慶一, 末近浩太, 高橋百合子. 2016. 『比較政治学の考え方』有斐閣.
  - 眞柄秀子, 井戸正伸. 2004. 『比較政治学 改訂版』放送大学教育振興会.

- Powell, G. Bingham, Jr., Russel J. Dalton, and Kaare Strøm, eds. 2018. *Comparative Politics Today: A World View*, 12th Edition. London: Pearson.
- 砂原庸介, 稗田健志, 多湖淳. 2015. 『政治学の第一歩』有斐閣.
- 建林正彦, 曾我謙悟, 待鳥聡史. 2008. 『比較政治制度論』有斐閣.
- 計量分析に関する文献
  - Angrist, Joshua D., and Jörn-Steffen Pischke. 2015. *Mastering 'Metrics: The Path from Cause to Effect*. Princeton, NJ: Princeton University Press.
  - 浅野正彦, 矢内勇生. 2013. 『Stataによる計量政治学』オーム社.
  - 浅野正彦, 矢内勇生. 2019. (近刊) 『Rによる計量政治学』オーム社. (草稿の一部を配布予定)
  - 飯田健. 2013. 『計量政治分析』共立出版.
- RとRStudioの使い方に関する文献
  - 浅野正彦, 中村公亮. 2018. (近刊) 『はじめてのRStudio』オーム社.
  - Lander, Jared P. (高柳, 牧山, 蓑田 訳) 2015. 『みんなのR: データ分析と統計解析の新しい教科書』マイナビ.
  - 松村優哉, 湯谷啓明, 紀ノ定保札, 前田和寛. 2018. 『R ユーザのためのRStudio[実践]入門』技術評論社.
  - 高橋康介. 2018. 『再現可能生のすゝめ』共立出版.
  - Xie, Yihui, J. J. Allaire, and Garrett Grolmund. 2018. *R Markdown: The Definitive Guide*. Boca Raton, FL: CRC Press.

## 授業計画

全体の授業計画は以下のとおりである。ただし、この計画は変更することがある。授業計画を変更する場合は授業中に案内し、この講義要項を改訂する。

### 初日 (9月19日) Rを使った統計分析の基礎

まず、授業の進め方を説明する。その後、統計分析に用いるRとRStudioの基本操作を説明する。

必読 教科書, 第1章

必読 (復習) 浅野・矢内 (2019) 第4-6章 (初回の授業で配布予定)

参考 浅野・中村 (2018)

参考 Lander (2015)

参考 高橋 (2018) 第1-5章

### 第2日 (9月20日) 比較政治学における因果推論

比較政治学の理論が示唆する因果関係を解明するため、どのような考え方と手続きを用いて因果推論が行われるか説明する。

必読 教科書, 第2章

参考 Angrist and Pischke (2015), Ch. 1

参考 伊藤公一朗. 2017. 『データ分析の力：因果関係に迫る思考法』 光文社

参考 岩波データサイエンス刊行委員会 (編) 2016. 『岩波データサイエンス Vol. 3』 岩波書店

参考 久米郁男. 2013. 『原因を推論する：政治分析方法論のすゝめ』 有斐閣

参考 中室牧子, 津川友介. 2017. 『「原因と結果」の経済学：データから真実を見抜く思考法』 ダイアモンド社

参考 Pearl, Judea, and Dana Mackenzie. 2018. *The Book of Why: The New Science of Cause and Effect*. Allen Lane

### **第3日 (9月25日) 比較政治学における概念の測定**

比較政治学の研究対象となる政治現象を正しく理解するため、どのような測定が行われるか説明する。

必読 教科書, 第3章

参考 Adcock, Robert, and David Collier. 2001. “Measurement Validity.” *American Political Science Review* 95(3): 529–547.

参考 廣瀬雅代, 稲垣佑典, 深谷 肇一. 2018. 『サンプリングって何だろう：統計を使って全体を知る方法』 岩波書店

参考 池田謙一 (編) 2016. 『日本人の考え方 世界の人の考え方：世界価値観調査から見えるもの』 勁草書房

参考 King, Gary, Robert O. Keohane, and Sidney Verba. (真淵 監訳) 2004. 『社会科学のリサーチ・デザイン：定性的研究における科学的推論』 勁草書房

参考 Sartori, Giovanni. 1970. “Concept Misinformation in Comparative Politics.” *American Political Science Review* 64(4): 1033–1055.

### **第4日 (9月26日) 比較政治学における「予測」**

比較政治学の理論とデータ分析を用いることによって可能になる「予測」の範囲と方法について説明する。

必読 教科書, 第4章

参考 Angrist and Pischke (2015), Chs. 2 & 4

参考 浅野, 矢内 (2013), 第10–13章

参考 Silver, Nate. (川添 訳) 2013. 『シグナル&ノイズ：天才データアナリストの「予測学」』 日経BP社

### **最終日 (9月27日) 分析結果のプレゼンテーション**

データ分析によって集めた証拠を効果的に提示する方法について学ぶ。その後、各受講生に分析結果を報告してもらう。最後に、全体のまとめを行う。

必読 「伝わるデザイン」 URL: <http://tsutawarudesign.com/>

参考 Chang, Winston. (石井, 河内, 瀬戸山, 古島 訳) 『R グラフィックス クックブック：ggplot2 によるグラフ作成のレシピ』 オライリー・ジャパン

### 質問があるときは

授業の内容について疑問があれば、遠慮せずに質問すること。授業に関連する質問であれば、どんな質問でも受け付ける。あなたがわからないと思っていることは、他の受講生もわからないと思っているはず。授業の内容がわからない原因の大部分は教員の説明不足にあると思われるので、授業中にわからないことがあれば積極的に質問してほしい。「この私にわからないんだから、このクラスの誰にもわからないだろう。しかたないから私が質問してあげる」という気持ちが大事。

授業の後に質問したいことを思いついたら、次の授業のときに質問してかまわない。Eメールでの質問も受け付ける。担当教員のメールアドレスはこのシラバスの最初のページに掲載されている。メールで質問する際は、以下のルールを守ること。

1. メールの題名（件名、タイトル）を必ず書く（例、「比較政治学 B 第 3 回の内容について質問」）。  
題名が書かれていないメールは迷惑メールだと判断して読まないかもしれない。
2. 本文（タイトルではない）に必ず名前（フルネーム）と学籍番号を書くこと。誰から送られてきたかわからないメールには返信しない。

これらのルールを守ってもらえれば、メールで質問に回答する。ただし、担当教員は 1 日に 1 度しかメールを確認しないので、回答までに 24 時間以上かかる場合がある。